

長年にわたり交通安全協会役員として活動に尽力し、地域に貢献したとして、佐沼地域飲酒運転根絶活動推進委員協議会会長の伊藤勝さん、追町大綱南さんが交通栄誉章「緑十字銀章」を受章。配偶者の伊藤桂子さんには「配偶者感謝状」が授与されました。



Information
09

交通栄誉章
「緑十字銀章」を受章

高橋いち子さん(追町・新任)、北條敏夫さん(登米町・再任)、佐藤博童さん(津山町・新任)が、1月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。

人権擁護委員は、人権に関する相談を受け、命の大切さや思いやりの心についての理解を深めてもらうための活動をしています。一人で悩まずにご相談ください。

【相談電話】月～金曜日／午前8時30分～午後5時15分

▼みんなの人権110番
☎0570(0003)110
▼女性の人権ホットライン
☎0570(070)810
▼子どもの人権110番
☎0120(007)110

【問い合わせ】仙台法務局登米支局(総務係)
☎0220(52)2070



SNS
人権相談
(LINE)

Information
08

法務大臣から
人権擁護委員に委嘱

市は、「野菜たっぷり」適塩ナトカリレシピコンテスト表彰式」を、1月5日に消防防災センターで開催しました。コンテストは、市内の小学5・6年生の親子を対象に、親子で適塩を意識し、バランスの良い食事や地場産野菜について理解を深める機会とするために実施。今年で3回目となる本コンテストでは、28作品の応募レシピの中から、8作品が入賞しました。

入賞作品のうち2作品は、2月の学校給食で提供されました。

【入賞作品】(敬称略)
▼最優秀賞Ⅱ及川琉斗(米川小)「シヨウガでポカポカ野菜たっぷりスープ」▼優秀賞Ⅱ鎌田璃音(浅水小)「登米っ子大好き豆乳スープ」▼ナトカリ賞Ⅱ成田智咲(豊里小)「切り干し大根の梅あえ」、小野心愛(浅水小)「さつまいもとぶたばらのあまからいため」▼ヘルスメイト賞Ⅱ千葉陽菜乃(米谷小)「おばあちゃんの野菜で簡単ピザ!」、及川知優(浅水小)「野菜たっぷりカボチャとさつまいものミートドリア」▼カゴメ賞Ⅱ佐々木りんか(米岡小)「栄養満点いろいろホットサラダ」、白鳥冬華(南方小)「登米のめぐみオムレツ」

※入賞作品は、市公式ホームページに掲載しています

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)
☎0220(58)2116



市公式ホームページ「ナトカリレシピ」

Information
07

適塩ナトカリレシピ
コンテスト8作品が入賞



地域の種まき隊 vol.5

市内各地区で取り組んでいる地域づくり活動を、シリーズで紹介します



笑顔で、元気な、
南方中央地区

南方公民館
集落支援員
永浦 恵美

南方中央地区は、みなみかた千本桜と花菖蒲の里公園をシンボルに、有数の米どころで、仙台牛の里としても広く知られています。

南方小6年生のアイデアでクリーン運動などを実施し、地域の人たちと一緒に楽しめる憩いの場づくりを進めています。また、親子で作物を育てる楽しさや食育の大切さを学ぶことができる「こども農園」を通して、地域交流の輪を広げています。人と人とのつながりを大切に、元気で魅力あふれる地域づくりを進めていきたいと思ひます。



つながる・みまもる
おもいやる

中津山公民館
集落支援員
佐々木 明日歌



中津山は、第3代横綱丸山権太左衛門の出生地。とにかく皆さん元気で、地域内の助け合い精神が一番の魅力です。

幼稚園や学校などと連携して、こどもたちと共に事業を展開しています。LINEやホームページにも力を入れていますが、なかなか情報が行き渡らないのが課題です。今後は地元はもちろん、全国に向けても魅力や情報を発信していきたいです。人や地域の新たな出会いを生み出せるような橋渡しができたらと思ひます。



同大会男子シングルス
4年生以下出場

主藤 晴翔 (宝江小4年)

持久力を付けて、正確さに磨きをかけて挑みました。練習で意識したことが試合で発揮できてうれしかったです。次の大会ではベスト8を目指します。



Zoom Up Tome 2024

第32回全国小学生バドミントン選手権大会女子ダブルス6年生以下準優勝

左から、主藤 愛結 (宝江小6年)
佐藤 碧海 (加賀野小6年)

全国大会初戦では、第1セットを相手に先取される危機を迎えましたが、二人で力を合わせて逆転し、勝利することができました。2回戦、準々決勝、準決勝、決勝と、最後まで諦めない心で戦い抜き、準優勝することができました。指導してくれた監督やコーチ、支えてくれた保護者の皆さん、そして、ペアを組んで一緒に戦ってくれたパートナーのおかげでここまで来ることができました。皆さん、ありがとうございました。

同大会男子ダブルス
4年生以下出場

熊谷 翼 (米谷小3年)

大会を振り返ると、もっと相手のサイドを攻めることができたと思ひます。この悔しさをばねに練習に打ち込み、相手に負けないような技術を身に付けたいです。

